

道徳通信

東中筋中学校

2018/06/25

No.2

道徳参観日を行いました

五月二十七日(日)に道徳参観日を行いました。一時間目の道徳の公開授業では、保護者の皆さんにも参加していただき、親子一緒に授業を行いました。二時間目の道徳懇談会では、新たに教科になる道徳の授業についての説明や、保護者の皆さん同士の意見交流を行いました。

【一年生】

『出産は、母親と赤ん坊の共同作業であり、生まれ産みだす二つの力を重ね合わせてお互いの命を支え合っている』という内容の教材を通して、改めて自分の命の尊さについて考えました。

【二年生】

自分の落球に気づけなかったために、県大会で優勝することになった主人公が、事実を言えないことに思い悩む姿を通して、『人間には弱さや醜さはあるが、それを乗り越え、よりよく生きようと思う強さや気高さがある』ということについて考えました。



【三年生】

体に障害があり、周囲の心ない言動に傷つきながらも、前向きに生きようとする主人公の姿を通して、公正で公平な世の中とはどういうものかということについて考えました。

【道徳懇談会】

「家庭で取り組む『高知の道徳』をもとに、あいさつや家族との会話、家族の一員としての役割(手伝い)、しつけ、スマホ等の使い方、などについて、それぞれのご家庭の様子などを交流しました。

保護者の皆さんの感想より

- ・自分の命も他人の命も大事に思える人になってほしいと思います。
- ・子供達も命の大切さを知ることができたと思います。家庭では命についてなかなか話すことがないのでよかったです。
- ・「相反する心が戦う経験」は、日々の生活の中で常にあることだと思えます。改めて考えさせていただけると時間をいただいたことです。ありがとうございました。
- ・うそをついてもやもやとした気持ちで日々を過ごすのはとても辛いことだと思います。本当のことを言う勇氣をもつのも大切だと思います。
- ・障害のあるなしに関係なく、弱い立場の人に手を差しのべられる人に育ってほしいです。自分も日常の中で意識して生活しているつもりですが、なお、気にかけたいと思います。
- ・子供達の考えが意外としっかりしてびっくりしました。色々考えさせられる授業でした。
- ・他の家のお話が聞けて良かったです。なかなか無い事なので楽しかったです。
- ・自分の考えだけでなく、ほかの人の考えや思いなどを知る機会や思いやりの気持ち等を育てるためには、道徳の時間は必要だと思いました。



いつも子供たちに声をかけてくださったり、見守ってくださったり、応援してくださったりと、ありがとうございます。これからもよろしくお願ひします。



子どもは社会の宝

地域ぐるみで子どもたちを育てよう!!

1 大人から、子どもたちに声をかけよう!

地域で顔の見える関係を築き、「こんにちは」「さようなら」「ありがとう」「すみません」などのあいさつが自然に飛び交う、ゆとりある心を育てていきましょう。

〔例〕登下校に合わせて散歩をして、子どもに声をかける。



2 マナー違反には、勇気をもって注意しよう!

人中では大声で携帯電話をかけない、ポイ捨てをしない、路上にツバをはかないなど、公共の場でのマナーの徹底を呼び掛けましょう。

〔例〕道いっぱいに広がって歩いている子どもたちや、自転車の二人乗りなど危険な乗り方をしている子どもたちに注意する。

3 子どもたちと一緒に、地域をきれいにしよう!

美化運動など、地域のために貢献する運動を通して、自分たちの地域を愛する気持ちやマナーを大切にすることを育てましょう。

〔例〕地域の清掃活動の日に、近所の子どもを誘う。



4 地域の行事に、子どもたちを積極的に参画させよう!

行事の準備段階から片付けまで参加させるなど、共同作業を通して人との付き合い方を身に付けさせましょう。

〔例〕昔の遊びや伝統行事を子どもに伝える機会をつくる。



😊 子どもと一緒にできる我が町の取り組みを書き込むコーナーです。



家庭で取り組む「高知の道徳」より